

## 岐阜県における重症心身障がい・医療的ケア児者支援施策に係る進捗状況

区分	番号	事業名	委託先・実施機関	予算額 (単位:千円)		令和5年度実績/令和6年度事業	実施年度	
				令和5年度	令和6年度			
在宅障がい児者 家族支援	1	在宅医療的ケア児等短期入所等支援事業費補助金	県直轄	29,300	37,790	・医療的ケアの必要な超重症児者・準超重症児者等に対して短期入所・日中一時支援を行った場合に必要となる経費の一部について一定額を補助。 【令和5年度実績】 医療機関・福祉施設数19か所(医療機関:11か所、福祉施設:8か所) 年間延利用者数:5,740日人 月平均利用日数:429日、月平均利用回数:479回	H28～	
	2	短期入所等利用促進体制整備事業費補助金	県直轄	400	400	・医療的ケアが必要な重症心身障がい児者を受け入れている短期入所事業所で、送迎車両の修繕費用など、利用者の利便性向上に資する取組みに対して補助。 【令和5年度実績】0ヶ所	H28～	
	3	要電源重度障がい児者災害時等支援ネットワーク構築事業	県直轄	670	670	・人工呼吸器など日常的に電源を要する医療機器を使用する重度障がい児者にとって電源の喪失は生命の危機に直結するため、長期停電を想定した備えが必要。 ・このため、医療機器の電源や医療資材の供給等について、有事の際に有効な支援が行えるよう医療機関、福祉施設、消防、電力会社、行政等の関係機関による協力・支援体制の在り方を検討する。 【令和5年度実績】 R5.7.21 市町村に対し、要電源重度障がい児者の把握及び災害時支援等体制に係る状況等調査を実施。 R5.8.25 要電源重度障がい児者の災害時等支援に係る市町村会議開催 R6.2.5 要電源重度障がい児者災害時等支援ネットワーク会議開催	H29～	
	4	重症心身障がい・医療的ケア児者の支援に係る市町村担当者会議	県直轄	-	-	・重症心身障がい・医療的ケア児者の支援体制の構築に向け、市町村(保健・障がい・保育・教育・防災・医療的ケア児等コーディネーター担当部門)、県(保健・医療的ケア・保育・教育・防災担当部門)、重症心身障がい在宅支援センターみらいによる担当者会議を開催(R6.10月開催)。 ・重症心身障がい児者・医療的ケア児者数のほか、支援体制構築に向けた現状・課題・対応等について情報共有・意見交換等を実施。	R6	
	5	要電源重度障がい児者災害時等非常用電源整備事業費補助金	県直轄	7,530	6,105	・市町村が実施する、要電源在宅重度障がい児者が災害時等に必要とする非常用電源装置等の整備及び購入経費の助成にかかる事業の経費の一部について一定額を補助。 【令和5年度実績】13市町(35件) 【(参考)補助制度整備市町村】 令和4年度 20市町、令和5年度 30市町、令和6年度見込 35市町	R3～	
	6	重症心身障がい在宅支援センター「みらい」の運営(医療的ケア児支援センター)						
		相談機能	県看護協会	14,800	14,800	・「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」に基づく医療的ケア児支援センターとして医療的ケア児者を含む在宅重度障がい児者の家族や療育機関向け相談窓口を整備。本所及びサテライト(中濃・東濃・飛騨)にコーディネーター(相談員)を配置し、電話・訪問相談のほか、必要に応じてカンファレンス等を実施。 【令和5年度実績】 相談件数:325件、カンファレンス31件	H27～	
		家族ネットワークづくり・研修機能 【令和5年度一部拡充】				・障がい児者の家族が気楽に集まって情報交換する場づくりや、家族同士をつなぐ機関誌の発行、HPを活用した情報提供サービスを実施。 ・令和5年度から、新たに保育所・学校等の教育機関に従事する看護師を対象に医療的ケア児の看護に必要な知識・技術を習得する研修を実施 【令和5年度実績】 家族交流会 5回延194人参加 対面開催(オンライン全圏域対象) 飛騨(27人)、西濃(49人)、岐阜(38人)、東濃(24人)、中濃(56人) 機関誌発行:2回 教育機関(保育所・学校等)の看護師向け医療的ケア児看護人材育成研修の実施 20人		
	7	重症心身障がい児者いきがい創出支援事業費	社会福祉法人、保護者団体	3,500	3,100	・在宅の重症心身障がい児者及び介護者に対し、ニーズに基づいた各種メニュー事業を行うことで、地域の中で豊かな生活を送ることができるよう、運動機能の低下防止や情緒の安定、介護者のリフレッシュなどにより重症心身障がい児者の福祉の増進を図る。 【令和5年度実績】 3事業者1団体	H19～	
	8	重症難病患者拠点・協力病院設備整備費補助金	県直轄	47,625	53,728	・重症難病患者の入院施設の確保や受け入れ体制の整備等が円滑に行われるよう、難病医療拠点・協力病院が行う医療機器等の整備に対し助成を実施 【助成対象】 医療機器(人工呼吸器・患者監視装置)の整備 非常用電源装置(非常用発電機・無停電電源装置)の整備 【助成内容等】 設備ごとに定める基準額の2/3を助成(国:1/3 県:1/3) 人工呼吸器 2,452,000円/1台あたり 患者監視装置 1,563,000円/1台あたり 非常用発電機 212,000円/1台あたり 無停電電源装置 41,100円/1台あたり 【令和5年度実績】医療機関6件 人工呼吸器:10台 患者監視装置:10台 無停電電源装置:2台	H23～	

区分	番号	事業名	委託先・実施機関	予算額 (単位:千円)		令和5年度実績/令和6年度事業	実施年度
				令和5年度	令和6年度		
医療・福祉人材の育成・確保	9	小児在宅医療教育支援センター運営事業費	岐阜大学	7,000	7,000	・岐阜大学大学院医学系研究科に「小児在宅医療教育支援センター」を設置し、医療的ケアが必要な障がい児者とその家族の在宅生活を支える医療に携わる医療従事者等の人材育成と関係医療機関との連携支援等を図る。 ＜事業内容＞ ・小児在宅医療に関わる人材育成 ・小児患者の在宅移行支援 ・在宅医療に関わる医療資源の活性化と連携支援 ・移行期医療の支援 ・障がい児者医療の普及啓発	R2～
	10	重症心身障がい児者看護人材育成研修事業	県看護協会	4,100	4,100	・重症心身障がい児者看護人材育成研修 重症心身障がい児者の在宅支援に重点を置き、訪問看護ステーションや特別支援学校と連携した講義を組み込むなど、通年型・年間約72時間(全12日間)の専門研修を実施。 【令和5年度実績】 修了者数:33名(受講者数:35人) ・フォローアップ研修 【令和5年度実績】 呼吸管理手技講習会 受講者数:28人 摂食嚥下リハ・口腔ケア実技講習会 受講者数:29名	H26～ H27～
	11	小児在宅訪問看護人材育成研修事業	県訪問看護ステーション連絡協議会	300	300	・訪問看護師を対象に、在宅重度障がい児のケアに係る研修を実施。 【令和5年度実績】 受講者数:31名 オンライン開催	R2～
	12	小児・障がい児(者)リハビリテーション専門研修	県理学療法士会	500	500	・理学療法士等を対象に、障がい児者リハビリの基本である小児リハビリ等に関する研修を実施。 【令和5年度実績】 受講者数:74名 オンライン開催	H28～
	13	医療的ケア児等コーディネーター養成研修等事業	県福祉事業団	2,050	2,551	・日常的に医療的ケアを要する重度障がい児者が地域で安心して暮らしていけるよう支援を総合調整するコーディネーター等を養成するため、相談支援専門員等を対象に、重度障がいや医療的ケアに関する専門知識や支援のスキルを習得する研修を実施。 【令和5年度実績】 受講修了者:66名(コーディネーター 50名、支援者16名)	H29～
	14	福祉事業所等医療的ケア支援事業費補助金	県直轄	3,000	2,092	・医療的ケアの必要な重症心身障がい児者を受け入れている生活介護事業所等が、外部の看護師、理学療法士、歯科衛生士等を活用し、訪問看護や訪問リハビリ、口腔ケア等の機会を提供するとともに、実際のケアを通じて、事業所職員の介護力向上を図る取組みに対し、訪問看護師等の招へいに要する費用の一部を補助。 【令和5年度実績】8件	H28～
	15	喀痰吸引等研修促進事業	喀痰吸引等登録研修機関	2,478	2,478	・痰吸引等の医療的ケアができる介護職員を増やすため、喀痰吸引等研修のうち、基本研修の受講料を無料とする支援を行う。 【令和5年度実績】 5回46名(岐阜2回、西濃1回、中濃・東濃1回、飛騨1回)	H27～
	16	喀痰吸引等研修補助事業	喀痰吸引等登録研修機関	600	600	・痰吸引等の医療的ケアができる介護職員を増やすため、喀痰吸引等研修のうち、実地研修に要する経費への一部補助を行う。 【令和5年度実績】 17件	H26～
多職種連携・普及啓発	17	東海三県小児在宅医療研究会	県直轄	2,457	2,965	・岐阜・愛知・三重それぞれの取組みの共有を図り、相互に交流連携できる関係づくりに向け、三県の研究会が一堂に会する東海三県小児在宅医療研究会を開催(三県持ち回りで幹事を担当)。 【令和5年度実績】 第9回 愛知県開催 373人参加 テーマ 医療的ケア児支援センター開設後の医療的ケア児と家族への支援	H26～
	18	岐阜県小児在宅医療研究会	県直轄			・医療、福祉、教育、行政等の関係者が一堂に会して知見を深め課題を共有し、顔の見える関係を構築する場づくりとして「岐阜県小児在宅医療研究会」を開催。 【令和5年度実績】 第13回 96人参加 テーマ 医療的ケア児のQOL向上について～衣食住を考える～	H25～
	19	障がい児者支援を考える公開連続講座の開催	県直轄	943	943	・障がい児者医療・福祉に携わる県内外の医師、看護師、療法士等を講師に、医療・福祉関係者や県民が障がい児者支援を考えるための連続講座を開催。 【令和5年度実績】 全3回(11月～12月 Youtube配信) 視聴回数:延834回 テーマ 第1回 障がい児の就学先決定の枠組と円滑な接続 第2回 就学後の障がい児への支援～卒業を視野に入れて～ 第3回 ライフステージを見据えた障がい児への生活支援	H26～
	20	NICU等からの在宅移行支援事業補助金	県直轄	1,000	700	・NICU等に入院する医療的ケア児が在宅生活に移行をする際に、訪問看護師等がケース検討会等に出席する経費や医療的ケア児の自宅訪問・外泊訓練を行う経費を助成	R5～
	21	岐阜県障がい者総合支援懇話会(重症心身障がい・医療的ケア部会)の開催	県直轄	400	400	・障害者総合支援法及び児童福祉法の改正(平成28年6月3日公布)を踏まえ、保健、医療、福祉、教育、保育等の関係機関による協議の場として「岐阜県障がい者総合支援懇話会(重症心身障がい・医療的ケア部会)」を開催 【令和5年度実績】1回開催	H28～

区分	番号	事業名	委託先・実施機関	予算額 (単位:千円)		令和5年度実績/令和6年度事業	実施年度
				令和5年度	令和6年度		
立案策	22	在宅重度障がい児者等実態調査事業費	調査会社	-	5,171	・県内に在住する在宅の重度障がい児者等(医療的ケア児を含む)の生活実態や支援ニーズを把握し、今後の支援施策等の充実にに向けた基礎資料とする、実態調査を実施。(5年ぶり3回目) ※市町村、県教育委員会、国立岐大附属及び私立の小中高校、私立幼稚園の協力(調査対象者の選定・調査票の配布等)を得て実施	R6
保育・教育の体制整備	23	療育支援体制強化事業	市町村	74,383	70,639	・保育所等における障がいを持つ児童の療育支援体制を強化するため、療育支援補助者として保育士を配置する施設に対し、配置に必要な経費を補助する。 【補助額等】 保育士等の雇用に係る人件費と基準額の小さい額から、療育支援加算額を除いた額 【基準額】 療育支援加算A適用施設 186,700円/月(県短卒保育士3年目) 療育支援加算B適用施設 164,700円/月(県短卒初任給) 【対象施設】 私立の保育所、認定こども園及び幼稚園のうち療育支援加算適用施設 【負担割合】 県1/2、市町村1/2 【令和5年度実績】 18市町80施設	H30~
	24	医療的ケア児保育支援事業費補助金	県直轄	80,948	85,034	○障害児受入促進事業 <保育対策総合支援事業費補助金(保育環境改善等事業 障害児受入促進事業)活用事業> ・既存の保育所等において、医療的ケア児を受け入れるために必要な改修や設備の整備(備品の購入等)に係る経費を補助する。 【補助基準額】 1施設当たり 1,029千円 【補助率】 国1/3、県1/3、市町村1/3 【令和5年度実績】 2市2施設 ○医療的ケア児保育支援事業【拡充】 <保育対策総合支援事業費補助金(医療的ケア児保育支援事業)活用事業> ・保育所等において、医療的ケア児の受入れを可能とするための体制整備に係る経費を補助する。 【補助基準額】 ①看護師等の配置 1施設当たり5,290千円 ※R6に「医療的ケア巡回型」を創設(1市町村当たり5,010千円)。【拡充】 ②研修受講支援【拡充】1施設当たり300千円 ※看護師等及び保育士等が喀痰吸引以外の研修を受講する場合も対象。 ③補助者の配置 1施設当たり2,232千円 ④医療的ケア保育支援者の配置 1市町村当たり 2,232千円 (喀痰吸引等研修を受講した保育士が担う場合、130千円を加算) ⑤ガイドラインの策定 1市町村当たり 577千円 ⑥検討会の設置 1市町村当たり 360千円 ⑦医療的ケア児の備品補助【拡充】1施設当たり 100千円 ⑧災害対策備品整備【拡充】1施設当たり 100千円 【補助率】 国2/3、県1/6、市町村1/6 又は 国1/2、県1/4、市町村1/4 【令和5年度実績】 11市町12施設	R4~
	25	【特別支援教育課関係事業・取組】	県直轄	2,029	3,071	○医療的ケア児校外学習充実事業 ・県立特別支援学校に在籍する医療的ケアを必要とする児童生徒が、学校行事計画に基づき実施される校外学習及び泊を伴う教育活動に安心安全に参加できるよう支援体制を整備する。 【実施校】医療的ケアを必要とする児童生徒が在籍する全ての県立特別支援学校(15校) 【具体的取組】各校での活動の工夫により、医療的ケア児が参加する校外学習の計画・実施数が増加。 【令和5年度実績】医療的ケア児が参加した校外学習活動…151件 ○医療的ケア担当者会の実施 ・県立特別支援学校に在籍する、医療的ケアを必要とする児童生徒に対し、安全かつ適切な医療的ケアを実施するために、情報交換及び今後の方策についての協議を行う。 【実施日】8月28日、12月14日、2月5日(年3回) 【実施方法】WEB会議システムを用いたオンライン会議 【構成委員】各校の医療的ケア担当者、医師、その他関係諸機関等関係者のうち特別支援教育課長が必要と認めた者 【具体的取組】・各校の取組状況についての情報交換 ・岐阜県立特別支援学校医療的ケア実施要項について ・行政説明 等 ○医療的ケア運営協議会の実施 ・県立特別支援学校において安全かつ適切な医療的ケアを実施するにあたり、総括的な管理体制を整備するためのガイドライン等の策定や新たに求められる医療的ケアの取扱いについて協議する。 【実施日】10月16日、1月15日(年2回) 【実施方法】WEB会議システムを用いたオンライン会議 【構成委員】医師、看護師、保護者代表、学識経験者、その他関係諸機関等関係者のうち特別支援教育課長が必要と認めた者、特別支援学校の校長・保健主事・養護教諭の代表者 【協議内容】・岐阜県立特別支援学校医療的ケア実施要項の改正について ・泊を伴う校外学習活動への看護師の同行について ・医療的ケア児の通学支援モデル事業について ・人工呼吸器マニュアルの改正について	R1~

区分	番号	事業名	委託先・実施機関	予算額 (単位:千円)		令和5年度実績/令和6年度事業	実施年度
				令和5年度	令和6年度		
						<p>○医療的ケア看護師(初任看護師等)研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学校で医療的ケアを実施する初任の医療的ケア非常勤専門職等が、特別支援学校における医療的ケアや医療的ケアの実施方法、重症心身障がい児に対する理解を図り、安全安心に医療的ケアを実施するための研修を実施する。</li> <li>【実施日】4月6日</li> <li>【実施方法】集合及びオンラインによるハイブリッド会議</li> <li>【会場】岐阜聖徳学園大学</li> <li>【対象者】特別支援学校又は小・中学校に初めて勤務する看護師</li> <li>【参加者数】16人</li> <li>【研修内容】県立特別支援学校における医療的ケアについて(実技指導を含む)</li> </ul> <p>○医療的ケア看護師研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学校において実際に医療的ケアを実施している常勤看護講師及び医療的ケア非常勤専門職等が、より安全で円滑な医療的ケアが実施できるよう、看護師としての専門性向上を図るための研修を実施する。</li> <li>【実施日】7月25日</li> <li>【実施方法】集合</li> <li>【会場】岐阜県立関特別支援学校</li> <li>【対象者】特別支援学校に勤務する全看護師</li> <li>【参加者数】80人</li> <li>【研修内容】・医療機器に関する研修 ・学校看護師のあり方について</li> </ul> <p>○医療的ケア専門研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケアの基本的事項(重度の障がい・疾病のある児童生徒)に関する医療上の専門的な対応方法について、具体的に理解を深めるための研修を実施する。</li> <li>【実施日】8月3日</li> <li>【実施方法】集合</li> <li>【会場】岐阜県立看護大学</li> <li>【対象者】主に医療的ケアを必要とする児童生徒を担当する教員</li> <li>【参加者数】30人</li> <li>【具体的取組】医療的ケアに関する基本的事項の講義と演習</li> </ul>	H16~  H16~  H16~